

福001	項目名	鳥取市社会福祉協議会補助金
------	-----	---------------

主要な施策	社会福祉団体育成事業費	ページ	28	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	223,112

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	223,112
-------	---------

本年度決算額	223,112
--------	---------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	223,112
計	223,112	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P58(福001)

【事業の概要】
 社会福祉協議会は、地域福祉活動の中心的役割を担っているが、その活動のほとんどは利用者負担を伴わないサービス提供である。このため、社会福祉協議会の運営が円滑に行われるよう事務局職員の人件費及びそれに付随する経費に対し補助を行う。

【事業の成果】
 事務局職員の人件費及びそれに付随する経費に対し補助する。
 平成23年度決算額 178,755千円 職員35人(正職29人・嘱託6人)
 平成24年度決算額 230,231千円 職員44人(正職38人・嘱託6人)
 平成25年度決算額 223,112千円 職員43人(正職36人・嘱託7人)

【今後の課題・方向性】
 鳥取市社会福祉協議会は、公益性の非常に高い法人であり、本市の福祉施策に対し、大きな役割を担っている。また地域包括ケアシステムの構築に向けて住民相互の支え合いの推進が欠かせず、社協の役割は今後高まる。業務の効率化を図りながら、今後も継続して助成を行う。

(参考)	
前年度決算額	230,231

評価結果	鳥取市社会福祉協議会は、公益性の非常に高い法人であり、本市の福祉施策に対し、大きな役割を担っている。また地域包括ケアシステムの構築に向けて住民相互の支え合いの推進が欠かせず、社協の役割は今後高まる。業務の効率化を図りながら、今後も継続して助成を行う。
------	---

福祉保健部
 高齢社会課

福002	項目名	介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定事業費
------	-----	-----------------------

主要な施策	介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定事業費	ページ	27
-------	-----------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	95
-------	----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	95
-------	----

本年度決算額	85
--------	----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	85
計	85

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正・P14 (福001)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の概要 <ol style="list-style-type: none"> ①鳥取市における介護保険、高齢者福祉施策の基本的な考え方 ②介護保険事業の運営状況の分析、評価 ③要介護認定者数等及び各サービス見込み量の推計 ④介護保険事業費と第1号被保険者の保険料の推計 ⑤各種高齢者福祉事業の推進 ・委員構成 委員数 19人(委員長1人、副委員長1人) <p>【事業の成果】 鳥取市における介護保険事業及び高齢者福祉施策について、平成27年度から平成29年度の3年を計画期間とする第6期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定する。</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の福祉事業を推進していく中で必要な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	本市の福祉事業を推進していく中で必要な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。
------	--

福003	項目名	県民総合福祉大会助成費
------	-----	-------------

主要な施策	県民総合福祉大会助成費	ページ	28	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	100

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	100
-------	-----

本年度決算額	100
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	100
計		100

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P58 (福002)

【事業の概要】
 県民総合福祉大会は東・中・西部の持ち回りで毎年度開催されており、平成25年度は鳥取市が開催地となった。
 また、開催地は大会の運営に対し助成を行うこととなっている。
 (前回の開催は平成22年度)

【事業の成果】
 県民の誰もが、心豊かに安心して暮らせる社会福祉を確立するためには、県民の福祉の推進に対する理解が必要である。
 このため、県民の多くが一堂に会し、地域福祉を身近な問題、自らの問題として受け止め、福祉のまちづくりに対する理解を深めた。

【今後の課題・方向性】
 次回、平成28年度に本市開催の予定。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	社会福祉に寄与した人を表彰し、社会福祉の理解を深めるための講演会の開催であり、次回開催は平成28年度予定。
------	---

福祉保健部
 高齢社会課

福004	項目名	福祉施設等整備促進資金貸付金
------	-----	----------------

主要な施策	福祉施設等整備促進費	ページ	28	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名		
一般会計		
款	民生費	
項	社会福祉費	
目	社会福祉総務費	

(単位:千円)	
当初予算額	36,749

補正予算額	△ 6,640
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	30,109
-------	--------

本年度決算額	12,213
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	12,056
	一般財源	157
計	12,213	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	12,056
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正・P14 (福002)

【事業の概要】
 平成16年度からの事業で鳥取市福祉施設等整備促進資金貸付要綱による融資を行うため、必要な資金の7分の5以内の額を原資として取扱金融機関に預託するもの。また、鳥取市福祉施設等整備促進資金貸付金信用保証料負担軽減補助金交付要綱に基づき、信用保証協会に対して、基本保証料率から要綱で定める保証料率(利用者負担率)を差し引いた率により算出した額を補助金として交付するもの。(補助金については18年度から)

【事業の成果】
 福祉施設を整備する民間事業者に対して、整備に必要な資金を融資することにより福祉施設の整備を促進し、もって本市における福祉施策の推進を図る。

○預託実績(新規なし)
 平成23年度 28,415千円(継続3件)
 平成24年度 23,555千円(継続3件)
 平成25年度 12,056千円(継続2件)

○利子補助実績
 平成23年度 234,457円(H22実績報告に基づく)
 平成24年度 198,723円(H23実績報告に基づく)
 平成25年度 156,614円(H24実績報告に基づく)

【今後の課題・方向性】
 福祉施設の整備を促進し、福祉施策の充実を図るには、金融機関から低金利で融資を受けられる制度が必要であり、今後も事業を継続していく必要がある。

(参考)

前年度決算額	23,754
--------	--------

評価結果	福祉施設の整備を促進し、福祉施策の充実を図るには、金融機関から低金利で融資を受けられる制度が必要であり、今後も事業を継続していく必要がある。
------	--

福祉保健部
 高齢社会課

福005	項目名	社会福祉法人指導監督事業費
------	-----	---------------

主要な施策	社会福祉法人指導監督事業費	ページ	27	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	399

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	399
-------	-----

本年度決算額	105
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	105
計		105

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P59 (福003)

【事業の概要】
 地域主権戦略大綱(H22.6.22閣議決定)を踏まえ、平成23年8月30日に「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図る為の関係法律の整備に関する法律」(平成23年法律第105号:第2次一括法)が公布されたことに伴い、社会福祉法に基づく社会福祉法人指導監査事務(所轄庁権限)が県から市に移譲されることとなった。
 市内社会福祉法人:13法人
 指導監査、新設・廃止・合併許可、定款変更許可に関する事務

【事業の成果】
 市内、9法人の実施検査を行った。

【今後の課題・方向性】
 社会福祉法人の適正な運営が行われるよう、指導監督を行う。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	今後も引き続き実施する。
------	--------------

福祉保健部
 高齢社会課

福006	項目名	介護基盤緊急整備事業補助金
------	-----	---------------

主要な施策	社会福祉施設整備等補助金	ページ	28
-------	--------------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	77,606

補正予算額	△ 59,219
-------	----------

予算流・充用額	△ 70
---------	------

最終予算額	18,317
-------	--------

本年度決算額	18,236
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	18,236
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	18,236

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】 賦課・徴収係 0857-20-3452</p> <p>【9次総の施策体系】 3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P59 (福004)</p> <p>【事業の概要】 県の介護基盤緊急整備事業補助金を積極的に活用し、本市の第5期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（平成24～26年度）に沿って介護施設を新設又は防災対策等を行う事業者に対して助成（財源：県補助10/10）を行い、介護基盤の充実・強化を図り利用者の安全・安心を確保する。</p> <p>【事業の成果】 既存の小規模多機能型居宅介護事業所のスプリンクラー整備 ・7法人10事業所（対象面積：2,039㎡）</p> <p>【今後の課題・方向性】 第5期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画（平成24～26年度）に基づき、国又は県補助を活用しながら必要に応じて助成事業を実施し、利用者の安全・安心を確保する。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	今後も県の介護基盤緊急整備事業補助金を積極的に活用して、介護保険事業計画に位置付けた介護施設を新設又は防災対策等を行う事業者に対して助成（財源：県補助10/10）を行い、本市の介護基盤整備を推進する。
------	--

福007	項目名	とっとり東部権利擁護支援センター設置・運営事業費補助金
------	-----	-----------------------------

主要な施策	とっとり東部権利擁護支援センター設置・運営事業費補助金	ページ	27
-------	-----------------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	2,283

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,283
-------	-------

本年度決算額	2,283
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,283
計	2,283

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】鳥取中央地域包括支援センター 0857-20-3456</p> <p>【9次総の施策体系】3202</p> <p>【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P60(福005)</p> <p>【事業の概要】 (1) 成年後見法人後見受任 (2) 虐待やその他権利擁護に関する相談受任 (3) 成年後見制度の利用に関する相談受任及び申立代行 (4) 成年後見受任者に対する支援 (5) 成年後見制度の普及・広報活動 (6) 権利擁護に関する支援を推進させるためのネットワークの構築及び活動</p> <p>【事業の成果】 アドサポの運営を財政的に支援することで、専門的な立場から高齢者や障がい者などの社会的弱者を安定的に支援できるシステムが構築された。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後、高齢者人口は増加が確実なことから、権利擁護事業に対するニーズはますます高まっていくと思われる。一方、アドサポについても現時点で現体制での対応が限界にきていることから、このことへの対応について、支援の在り方など県、東部の4町と検討が必要と思われる。</p>

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	事業目的は妥当であり、事業実績も適切である。
------	------------------------

福008	項目名	社会福祉施設改修事業費
------	-----	-------------

主要な施策	社会福祉施設整備費	ページ	27	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	64,784

補正予算額	1,133
-------	-------

予算流・充用額	106
---------	-----

最終予算額	66,023
-------	--------

本年度決算額	64,409
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	64,409
	計	64,409

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P60(福006)、12月補正予算・P15(福003)

【事業の概要】
 福祉施設の修繕

【事業の成果】
 さざんか会館 空調全面改修
 湯谷荘 ロビー照明修繕
 福部砂丘温泉 浄化槽ブローア-修繕
 佐治老人福祉センター ロビー空調修繕、事務室ブラインド修繕
 鹿野老人福祉センター 教養娯楽室空調修繕
 平成23年度決算額 2,949千円
 平成24年度決算額 42,395千円
 平成25年度決算額 64,409千円

【今後の課題・方向性】
 定期的に建物点検を行い、計画的に修繕を実施することで長期休館するような修繕が発生しないようにする。

(参考)

前年度決算額	42,395
--------	--------

評価結果	建築20年前後の施設であり、老朽化が進んでいる。しっかり保守点検業務を行い計画的修繕し、利用者に不便がかからないようにする。
------	--

福祉保健部
 高齢社会課

福009	項目名	レーク大樹等温泉供給施設管理事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	社会福祉施設整備費	ページ	27
-------	-----------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】5103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 8月補正予算・P11（福002）

【事業の概要】
 平成25年7月1日付レーク大樹が民間へ譲渡されたことに伴い、源泉ポンプを市が維持管理することとなった。

【事業の成果】
 レーク大樹と因幡路に温泉水を供給している源泉ポンプ場の維持管理を行った。

【今後の課題・方向性】
 源泉ポンプ場を鳥取市が維持管理していく。

※その他財源のその他は、温泉配湯料

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	549

予算流・充用額	△ 35
---------	------

最終予算額	514
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	240

本年度決算額	240
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	240
一般財源	0
計	240

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	今後も引き続き実施する。
------	--------------

福010	項目名	わが町支え愛活動支援事業補助金
------	-----	-----------------

主要な施策	わが町支え愛活動支援事業補助金	ページ	28	所属名
-------	-----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	1,500
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,500
-------	-------

本年度決算額	1,481
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,481
計	1,481

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 6月補正予算・P8（福001）

【事業の概要】
 支え合いマップの作成や個別避難訓練の実施などを通じて、障がい者や独居の高齢者の方々等（要援護者）に対する災害時の避難支援の仕組みや平常時の見守り体制をつくるなど、要援護者が身近な地域で安全安心に暮らすための取組を支援する。

【事業の成果】
 町内会、集落単位で取り組まれる災害時の要援護者避難体制及び平常時の見守り体制の構築を支援することにより、身近な地域で安全安心な生活基盤の整備を図った。

【今後の課題・方向性】
 今後、高齢化がさらに進んでいく中、地域ぐるみで障がい者や独居高齢者等の要援護者を支えていく体制づくりを進めていく必要がある。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	障がい福祉課が実施する避難行動要支援者登録制度と連携しながら事業を継続する。
------	--

福祉保健部
 高齢社会課

福011	項目名	レーク大樹施設取扱方針検討事業費
------	-----	------------------

主要な施策	事務費	ページ	27
-------	-----	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	<p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P61（福007）</p> <p>【事業の概要】 外部委員で構成されるレーク大樹等あり方検討委員会の報告に基づき、レーク大樹等の売却に向け必要となる不動産鑑定及び分筆登記資料作成を行う。</p> <p>【事業の成果】 民間への売却を実施。</p> <p>【今後の課題・方向性】 売却により本事業終了。</p>
-------	---

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	3,209

補正予算額	26
-------	----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,235
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,175
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,175
計	3,175

(参考)	
前年度決算額	90

評価結果	売却を終えたため、本事業は終了。
------	------------------

福012	項目名	養護老人ホームのあり方等検討事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	事務費	ページ	27
-------	-----	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P15(福004)

【事業の概要】
 外部委員等で構成される養護老人ホームのあり方等検討委員会を設置、「養護老人ホームなごみ苑」のあり方について検討する。

【事業の成果】
 「公共サービスとしての必要性」、「行政サービスとしての必要性」等について検討を行った。

【今後の課題・方向性】
 施設の譲渡について、具体的に検討していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	1,488
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,488
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,393
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,393
計	1,393

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	今後施設の譲渡について具体的に検討を行っていく。検討事業については終了。
------	--------------------------------------

福013	項目名	養護老人ホーム入所事業費
------	-----	--------------

主要な施策	養護老人ホーム入所事業費	ページ	29	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	208,953

補正予算額	△ 5,920
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	203,033
-------	---------

本年度決算額	199,352
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	49,058
	一般財源	150,294
計		199,352

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	49,009
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	49
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P61(福008)

【事業の概要】
 概ね65歳以上で環境上及び経済的な理由により居宅で養護を受けることが困難な高齢者を入所させ養護することにより、健康で安心な生活を送れるよう支援する。

【事業の成果】
 平成23年度決算額 202,964千円
 平成24年度決算額 204,847千円
 平成25年度決算額 199,352千円

【今後の課題・方向性】
 経済的・環境的な要因等で地域生活が困難な者に住居を提供するため、今後も継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	204,847

評価結果	経済的・環境的な要因等で地域生活が困難な者に住居を提供するため、今後も継続して実施する。
------	--

福祉保健部
 高齢社会課

福014	項目名	高齢者居住環境整備助成費
------	-----	--------------

主要な施策	高齢者居住環境整備助成費	ページ	29	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	7,600

補正予算額	△ 902
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,698
-------	-------

本年度決算額	5,055
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,612
地方債	0
その他	0
一般財源	3,443
計	5,055

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P62(福010)

【事業の概要】
 介護保険の住宅改修費給付に加えて、高齢者の居住環境を整備するための改修工事費の助成を実施。

- ・対象者 要介護・要支援の認定を受けている者で本人及び同一住所を有する者がすべて市民税非課税の者
- ・対象工事 手すりの取付、段差の解消、滑り止め防止の床材の変更、引き戸等への取替、和式便器の取替等
- ・助成金額 助成対象経費20万円までは3分の2、20万円超～80万円までは2分の1を助成(給付限度額433,000円)

【事業の成果】

平成23年度決算額	6,121千円	利用件数	18件
平成24年度決算額	2,195千円	利用件数	8件
平成25年度決算額	5,055千円	利用件数	18件

【今後の課題・方向性】
 経済的に住宅改修が困難な世帯に属する高齢者の在宅生活を支援するため、今後も引き続き事業を行う必要がある。

(参考)

前年度決算額	2,195
--------	-------

評価結果	経済的に住宅改修が困難な世帯に属する高齢者の在宅生活を支援するために、今後も必要な事業である。
------	---

福祉保健部
 高齢社会課

福015	項目名	敬老祝賀事業費
------	-----	---------

主要な施策	敬老金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	ページ	29
-------	-------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	2,000

補正予算額	△ 241
-------	-------

予算流・充用額	2
---------	---

最終予算額	1,761
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,759
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,759
計		1,759

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P63 (福011)

【事業の概要】
 90歳到達された者及び100歳以上の長寿者に対し記念品とお祝い状等を、施設入居者に対し、記念品を贈る。また、100歳以上の長寿者への記念品等贈呈にあたっては、希望により、市長が自宅を訪問する。

【事業の成果】

	100歳以上	90歳到達者
平成23年度決算額	1,543千円	112人
平成24年度決算額	1,511千円	133人
平成25年度決算額	1,759千円	140人

【今後の課題・方向性】
 高齢者の長寿を祝うため、今後も継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	1,511

評価結果	高齢者の長寿を祝うため、今後も継続して実施する。
------	--------------------------

福016	項目名	金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	敬老金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	ページ	29
-------	-------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	1,494

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 1
---------	-----

最終予算額	1,493
-------	-------

本年度決算額	1,319
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,319
計	1,319

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P63 (福012)</p> <p>【事業の概要】 結婚生活50周年(金婚)、60周年(ダイヤモンド婚)のご夫婦を一堂に招待し、お祝いの式典を実施することにより高齢者の生きがい増進を図る。金婚式は昭和46年度から、ダイヤモンド婚式は平成11年度から開催している。平成17年度からは、合併に伴い市内3ブロックに分けて開催。 祝賀式典で代表者の方に祝詞を贈呈。式典後アトラクション、記念撮影を実施。 Aブロック(鳥取地域:鳥取・国府・福部) Bブロック(南部地域:河原・用瀬・佐治) Cブロック(西部地域:気高・鹿野・青谷)</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 1,442千円 金婚391組(出席173組)、ダイヤモンド婚169組(出席75組) 平成24年度 1,354千円 金婚324組(出席152組)、ダイヤモンド婚155組(出席72組) 平成25年度 1,319千円 金婚330組(出席159組)、ダイヤモンド婚177組(出席79組)</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者の生きがい増進を図るため、今後も継続して事業を行う。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	1,354

評価結果	高齢者の生きがい増進を図るため、今後も継続して事業を行う。
------	-------------------------------

福017	項目名	敬老祝賀事業補助金
------	-----	-----------

主要な施策	敬老金婚・ダイヤモンド婚祝賀事業費	ページ	29
-------	-------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P64（福013）

【事業の概要】
 鳥取市社会福祉協議会を通じ、各地区で開催される地域敬老会の開催経費の一部を補助することにより、市内在住高齢者の長寿と健康を祝う。
 75歳以上の高齢者：700円/人
 開催地区：10,000円/地区

【事業の成果】
 各地区で開催される地域敬老会の開催経費の一部を補助することにより、市内在住高齢者の長寿と健康を祝った。
 平成23年度決算額 対象者25,112人 17,998千円
 平成24年度決算額 対象者25,555人 18,308千円
 平成25年度決算額 対象者25,780人 18,464千円

【今後の課題・方向性】
 当面現状維持とするが、高齢者人口の増加を見込み、将来的に持続可能な形態を検討する。

(単位:千円)

当初予算額	18,391
補正予算額	75
予算流・充用額	0

最終予算額	18,466
本年度決算額	18,464

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	18,464
計	18,464

(参考)

前年度決算額	18,308
--------	--------

評価結果	平成20年度において、合併前に実施されていた各町村の敬老祝賀事業を全市的に整理・統一し、現在においては、当該事業の地域における実施体制も定着している。平成24年度において、行政評価外部評価において、「現状維持」の評価を受けており、現行事業の維持が望ましいと考えている。
------	--

福018	項目名	単位老人クラブ活動補助金
------	-----	--------------

主要な施策	老人クラブ育成費	ページ	29	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	16,352

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 49
---------	------

最終予算額	16,303
-------	--------

本年度決算額	16,076
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	10,717
地方債	0
その他	0
一般財源	5,359
計	16,076

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P64 (福014)

【事業の概要】
 老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、会員数に応じて補助をおこなう。

【事業の成果】
 補助を通じて、老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進した。

平成23年度決算額 16,604千円 クラブ数283クラブ
 平成24年度決算額 16,357千円 クラブ数282クラブ
 平成25年度決算額 16,076千円 クラブ数279クラブ

【今後の課題・方向性】
 老人クラブは、健康増進活動をはじめ、子供の通学見守り活動や小学校花壇整備といったボランティア活動など、各種の地域づくり事業を担っているが、全国的に老人クラブ数の減少が進む中、鳥取市老人クラブの維持を目指す。

(参考)	
前年度決算額	16,357

評価結果	今後も継続が必要な事業である。
------	-----------------

福祉保健部
 高齢社会課

福019	項目名	老人クラブ連合会活動補助金
------	-----	---------------

主要な施策	老人クラブ育成費	ページ	29
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部 高齢社会課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P65（福015）

【事業の概要】
 老人クラブ連合会の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。

【事業の成果】
 社会奉仕活動等を広域的に実施する鳥取市老人クラブ連合会の活動が高齢者の生きがいづくりや介護予防のための健康づくりに繋がる。

平成23年度決算額 5,947千円
 平成24年度決算額 5,947千円
 平成25年度決算額 5,947千円

【今後の課題・方向性】
 事業の実施は、老人クラブ活動の活性化に繋がるものであり、今後も継続して実施する。

(単位:千円)

当初予算額	5,947
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	5,947
本年度決算額	5,947

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	3,964
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,983
計	5,947	

(参考)

前年度決算額	5,947
--------	-------

評価結果	事業の実施は、老人クラブ活動の活性化に繋がるものであり、今後も継続して実施する。
------	--

福020	項目名	公共交通機関利用助成事業費
------	-----	---------------

主要な施策	公共交通機関利用助成事業費	ページ	29	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	4,846

補正予算額	2,806
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,652
-------	-------

本年度決算額	6,689
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	6,689
計	6,689

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P65(福016)、8月補正予算・P12(福003)、
 12月補正予算・P16(福005)

【事業の概要】
 高齢者の団体が、健康保持のための教養講座、広く地域社会との交流を図り、生きがいを高めるためのレクリエーション、研修などにおいて公共交通機関や観光バスを利用した場合、その経費の一部を助成する。また、平成25年度より各地区公民館を拠点に活動している団体が、地域活動、地域交流、研修などへ参加するため、貸切バス等を利用した場合、その経費の一部を助成する。
 ・対象となる10万円までの基本運賃に対して、1/2を助成(H24までの助成率)
 ・平成25年度より基本運賃上限5万円までの全額助成
 ・利用回数は、年度中に1団体1回

【事業の成果】

	平成23年度決算額	平成24年度決算額	平成25年度決算額	利用件数
	2,432千円	2,682千円	6,689千円	67件(高齢者)
				69件(高齢者)
				134件(高齢者83件・貸切バス51件)

【今後の課題・方向性】
 高齢者の閉じこもりを防ぎ、社会参加を促進するため、今後とも必要である。また、市民が研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、研修を受ける機会の拡大を図りながら、利用者の公平性を考慮し、助成方法の見直しを図りながら継続して事業を行う。

(参考)

前年度決算額	2,682
--------	-------

評価結果	高齢者の閉じこもりを防ぎ、社会参加を促進するため、今後とも必要である。また、市民が研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、研修を受ける機会の拡大を図りながら、利用者の公平性を考慮し、助成方法の見直しを図りながら継続して事業を行う。
------	--

福祉保健部
 高齢社会課

福021	項目名	高齢者虐待保護事業費
------	-----	------------

主要な施策	高齢者虐待保護事業費	ページ	29	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	448

補正予算額	712
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,160
-------	-------

本年度決算額	967
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	392
一般財源	575
計	967

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	392
その他	0

事業の概要

【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P16 (福006)

【事業の概要】
 老人福祉法に基づき、虐待等を受けている高齢者を特別養護老人ホームへ入所等措置により分離する。
 鳥取市生活管理指導短期宿泊事業実施要綱に基づき、虐待等を受けている高齢者を、養護老人ホームにて分離する。

【事業の目的及び効果】
 ・身体的か心理的かを問わずあらゆる形態による虐待を受けている高齢者を措置等により施設に入所させ、生命の安全を図る。
 ・介護サービスの利用を必要としているが、認知症その他の理由により意思能力が乏しく、かつ、本人を代理する家族等がおらず利用ができていない高齢者に、措置等により介護サービスを利用させる。

【事業の成果】
 平成23年度決算額 0千円
 平成24年度決算額 0千円
 平成25年度決算額 967千円 (6名)

【今後の課題・方向性】
 今後も必要な事業である。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	今後も必要な事業である。
------	--------------

福祉保健部
 高齢社会課

福022	項目名	民生委員事業費
------	-----	---------

主要な施策	民生委員事業費	ページ	28	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	1,988

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,988
-------	-------

本年度決算額	1,928
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	10
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,918
計		1,928

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P66 (福017)

【事業の概要】
 民生児童委員の委嘱等に関する手続き、研修等経費を支援し、もって地域福祉の増進に資することを目的とする。
 ・民生委員推薦会の運営
 ・全国民生児童委員大会の参加に係る経費
 ・民生児童委員の委嘱等手続き など

【事業の成果】
 民生児童委員業務等に関する研修会を実施することにより、活動を推進することができた。

【今後の課題・方向性】
 近年、民生児童委員の業務が複雑で多岐にわたるため、一斉改選により退任者の増加が危惧される。
 ■退任者数 22年度：218人
 25年度：207人

(参考)	
前年度決算額	163

評価結果	民生児童委員の委嘱等に関する手続き事務であり、引き続き必要と考える。
------	------------------------------------

福祉保健部
障がい福祉課

福023	項目名	障害者虐待防止対策支援事業費
------	-----	----------------

主要な施策	障害者虐待防止対策支援事業費	ページ	28	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	2,180

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,180
-------	-------

本年度決算額	1,906
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	952
地方債	0
その他	0
一般財源	954
計	1,906

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P67(福019)

【事業の概要】
 平成23年6月の「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の成立を受け、平成24年10月1日より法が施行されたことに伴い、通報窓口として市町村に障害者虐待防止センター機能を整備する必要性が生じた。
 障がい者に対する虐待が障がい者の尊厳を害するものであり、障がい者の自立及び社会参加にとって障がい者に対する虐待を防止することが極めて重要であり、虐待の禁止、虐待の予防及び早期発見等を行うために、障害者虐待防止センター機能を整備し、障がい者虐待の防止、養護者に対する支援等を促進し、もって障がい者の権利利益の擁護に資することを目的とする。
 障がい者虐待を専任とする嘱託職員(1名)の配置(家庭訪問等個別支援)
 障がい者虐待ネットワーク協議会の設置
 障がい者虐待防止に関する普及啓発 ほか

【事業の成果】
 障がい者虐待防止センター機能の整備により福祉サービス事業所への啓発活動を行うことができた。

【今後の課題・方向性】
 事業所のみでなく住民への啓発活動も必要であり、虐待の早期発見に努める必要がある。

(参考)	
前年度決算額	1,064

評価結果	障がい者が尊厳を保ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには障がい者虐待を防止すること及び養護者への支援等は継続して行う必要がある。
------	---

福祉保健部
 障がい福祉課

福024	項目名	重度障がい者(児)タクシー料金助成費
------	-----	--------------------

主要な施策	重度障がい者(児)タクシー料金助成費	ページ	29
-------	--------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	身体障がい者福祉費

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P67(福020)

【事業の概要】
 重度障がい者の日常生活の利便向上と社会参加の拡大を支援するため、タクシー料金の一部を助成する利用券を交付し、障がい者福祉の増進を図る。

【事業の成果(過去3年)】
 ○利用実績
 平成23年度実績 1,114名交付 24,018枚利用 11,842千円
 平成24年度実績 1,104名交付 23,691枚利用 11,678千円
 平成25年度実績 1,110名交付 23,451枚利用 11,555千円

【今後の課題・方向性】
 重度障がい者の日常生活の利便と社会参加の拡大を図るものであり、今後も継続して支援が必要である。

(単位:千円)

当初予算額	12,210
補正予算額	0
予算流・充用額	△16

最終予算額	12,194
本年度決算額	11,665

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	11,665
計	11,665	

(参考)

前年度決算額	11,788
--------	--------

評価結果	重度障がい者の日常生活の利便と社会参加の拡大を図るものであり、今後も継続して支援が必要である。
------	---

福025	項目名	エアーマットレス・レンタル助成事業費
------	-----	--------------------

主要な施策	エアーマットレス・レンタル助成事業費	ページ	28
-------	--------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	身体障がい者福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	800

補正予算額	△ 686
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	114
-------	-----

本年度決算額	21
--------	----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	10
地方債	0
その他	0
一般財源	11
計	21

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475</p> <p>【9次総合の施策体系】 3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P68 (福022)</p> <p>【事業の目的】 重心児・者、神経筋疾患（筋ジストロフィー）のある方、後天性疾患による全身性運動障がいのある方について、褥瘡を予防するため体位変換器のついた高機能エアーマットリースする際の経費の一部を助成する。</p> <p>【事業の内容】 (1) 対象者 次に該当する障がい児・者のうち体幹・両上下肢機能低下により、体位変換が自力で出来ない方 1 重心児・者 2 神経筋疾患（筋ジストロフィー）のある方 3 後天性疾患による全身性運動障害（18歳未満発症）のある方 (2) 補助対象経費 エアーマットのリース経費（上限：10,000円/月） ※利用者負担月額千円未満切り捨て</p> <p>【事業の成果】 ○平成25年度 1件 助成額 20,900円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度開始事業。事業利用の要望は複数あったが、対象が18歳未満の発症という点で、実績の1件以外、該当し要望と合致しなかった。平成26年度より、この要件を外したため、障がいのある方の要望に合った形での事業展開が図られると考える。</p>

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	事業の継続が望ましい。
------	-------------

福026	項目名	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業
------	-----	---------------------

主要な施策	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業	ページ	28	所属名
-------	---------------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	身体障がい者福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	2,000

補正予算額	△ 665
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,335
-------	-------

本年度決算額	1,335
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	667
地方債	0
その他	0
一般財源	668
計	1,335

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】
当初予算・P69 (福023)

【事業の目的】
肢体不自由や発達障がい等の特にケアの必要な障がい児を療育する放課後等デイサービス事業所等に対して、医療専門職による医療ケアや治療を実施するにあたり必要な医療器具等に係る経費を支援する。

【事業の内容】
(1) 対象施設
指定放課後等デイサービス事業所等を開設している事業所(公立・公営を除く)であり、医療専門職による吸引等の医療ケアやリハビリテーションを実施できる事業所。
※補助予定件数 年間最大2事業所

(2) 事業対象
エアーマット、吸引器、姿勢保持具、感覚統合遊具、コミュニケーションツール等、医療ケアやリハビリテーションの実施に必要な備品購入費

(3) 対象経費
1事業所あたり1,000千円以内(年間)

(4) 実施根拠
■鳥取県障がい児を育てる地域の支援体制整備事業
県 1/2 市 1/2

【事業の成果】
○平成25年度 2件 1,334,475円

【今後の課題・方向性】
平成25年度は、予算上予定していた2事業所に対し医療機器購入の支援を達成した。現在、他にも看護師を配置し、医療ケアが必要な障がい児・者を受け入れている事業所が複数ある。引き続き、事業継続し支援していくことが望ましい。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	事業の継続が望ましい。
------	-------------

福祉保健部
障がい福祉課

福027	項目名	身体障がい者福祉行政事務費
------	-----	---------------

主要な施策	事務費	ページ	29
-------	-----	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	身体障がい者福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	3,422

補正予算額	2,878
-------	-------

予算流・充用額	23
---------	----

最終予算額	6,323
-------	-------

本年度決算額	6,130
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	533
	一般財源	5,597
計	6,130	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	533
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P17(福007)</p> <p>【事業の目的及び効果】 障がい者タクシー利用券の交付事務、NHK減免事務、自立支援医療(更生医療)受付事務、障がい者福祉サービス管理事務、身体障害者手帳の管理・交付事務、その他障がい者福祉事務の迅速的確な進行を図る。</p> <p>【事業の成果】 障がい福祉課の事務経費全般。 身体障害者手帳の管理・交付事務、その他各種手続きに対応する窓口業務及び鳥取市地域自立支援協議会事務を担う臨時職員として1名の人件費。</p> <p>【今後の方向性】 年々多種多様化する制度・サービスに対応するため、窓口業務全般を行う臨時職員の配置を必要とする。</p>

(参考)	前年度決算額	4,500
------	--------	-------

評価結果	年々多種多様化する制度、サービスに迅速的確に対応するため。窓口事務全般を行う臨時職員の配置を必要とする。
------	--

福028	項目名	グループホーム夜間世話人配置事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	グループホーム夜間世話人配置事業費	ページ	29	所属名
-------	-------------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名		
一般会計		
款	民生費	
項	社会福祉費	
目	知的障がい者福祉費	

(単位:千円)	
当初予算額	10,240

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	10,240
-------	--------

本年度決算額	6,739
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	3,369
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,370
計		6,739

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P69 (福024)

【事業の概要】
 知的障がい者・精神障がい者グループホームに、夜間世話人を配置することにより、当該障がい者と利用者の安全を確保するとともに、グループホームの設置促進及び運営の安定化を図る。また、夜間支援員を配置することにより、たん吸引等医療行為が必要な利用者の受け入れを可能にする。

【事業の成果】
 日常生活動作に不安のある方に対しての夜間支援（排せつ介助、就寝支援、夜尿防止）を行うことで、部分的な介助が必要な方でもグループホームの利用が可能になった。また、たん吸引等の必要な方の利用が可能となった。

事業の実績（過去3年）（平成24年度より要綱改正）
 平成23年度 2,828千円 5事業所8ホーム
 平成24年度 3,165千円 5事業所8ホーム
 平成25年度 6,739千円 6事業所11ホーム

【今後の課題・方向性】
 平成26年度からグループホーム・ケアホームが一元化されるが、報酬体系に大きな変更はなく、事業の継続が必要と考える。

(参考)

前年度決算額	3,165
--------	-------

評価結果	平成26年度からグループホーム・ケアホームが一元化されるが、報酬体系に大きな変更はなく、事業の継続が必要と考える。
------	---

福祉保健部 障がい福祉課

福029	項目名	障害者自立支援法施行事務費
------	-----	---------------

主要な施策	障害者自立支援法施行事務費	ページ	30	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	2,746

補正予算額	8,806
-------	-------

予算流・充用額	1
---------	---

最終予算額	11,553
-------	--------

本年度決算額	11,149
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	1,200
	地方債	0
	その他	123
	一般財源	9,826
計		11,149

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	123
その他	0

事業の概要

【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 8月補正予算・P12 (福004)

【事業の概要】
 障害者自立支援法に基づく各種サービスの新規・変更・更新申請に伴う経費及び障害者システムの保守管理費用、制度変更によるシステム改修費等を支出するもの。

【事業の成果】
 ※事業委託先
 障害者システムソフトウェア保守：富士通（株）鳥取支店

【今後の課題・方向性】
 適正な受給者情報の管理を行うために継続して必要である。

(参考)	
前年度決算額	6,725

評価結果	制度的な事務費であるため、現状維持すべきである。
------	--------------------------

福祉保健部
障がい福祉課

福030	項目名	介護給付費
------	-----	-------

主要な施策	介護給付費	ページ	30	所属名
-------	-------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	2,400

補正予算額	2,966
-------	-------

予算流・充用額	1,205
---------	-------

最終予算額	6,571
-------	-------

本年度決算額	5,149
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	3,861
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,288
計		5,149

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P70 (福025)

【事業の概要】
 障害福祉サービス利用申請後、支給決定までの間にやむを得ない事情によりサービスを利用した場合は、事業所に一端全額を支払う必要があるが、その後利用者の申請に基づき利用者負担額を除いた額を給付する。

【事業の成果】
 障害区分決定を待たないで障害福祉サービスを利用した場合の利用者負担の軽減を図ることができた。

平成23年度 特例給付49件
 平成24年度 特例給付36件
 平成25年度 特例給付29件

【今後の課題・方向性】
 介護給付の場合、申請から障害程度区分の認定を経て支給決定するまでに現在2か月程度必要となる。現在、入院、入所者の地域移行が促進されており、支給決定を待たないで、サービス利用するケースが増加すると思われる。

(参考)	
前年度決算額	3,286

評価結果	障害支援区分の更新手続きが遅れて給付対象になるケースがあり、更新手続きが適切になされるよう周知徹底する必要がある。
------	---

福祉保健部
 障がい福祉課

福031	項目名	自立支援医療費
------	-----	---------

主要な施策	自立支援医療費	ページ	30	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	185,415

補正予算額	24,873
-------	--------

予算流・充用額	△ 1,201
---------	---------

最終予算額	209,087
-------	---------

本年度決算額	208,661
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	158,154
地方債	0
その他	0
一般財源	50,507
計	208,661

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P70(福026)

【事業の概要】
 身体に障がいのある方に必要な自立支援医療費(更生医療、育成医療)を支給し、障がいの除去・軽減や機能回復を行う。
 更生医療、育成医療費の支給決定、受給資格証の交付、更生医療、育成医療費の支給等を行う。育成医療については、平成25年度より市町村で行うこととなった。

(1) 医療保険との関係
 医療保険適用後の自己負担部分に対して助成する。

(2) 利用者負担
 原則、医療費の1割を利用者が負担する。
 なお、生活保護世帯該当者は医療保険が適用されないため、更生医療費の総額を市が負担する。

【事業の成果】
 人工透析、心臓人工弁手術等の医療費の自己負担部分に対して助成を行うことにより、自己負担額の軽減を図ることができた。

平成23年度	更生医療	535件
平成24年度	更生医療	594件
平成25年度	更生医療	665件
	育成医療	90件

【今後の課題・方向性】
 対象医療の利用者が年々増加傾向にある。

(参考)	
前年度決算額	186,344

評価結果	障害者自立支援法の改正動向等を見ながら必要な見直しを行う。 制度の利用者数が年々増加傾向にある。併せて平成25年度から育成医療の事務が権限移譲により市町村の事務となったため拡充傾向にある。
------	---

福祉保健部
 障がい福祉課

福032	項目名	療養介護医療費
------	-----	---------

主要な施策	療養介護医療費	ページ	30	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	39,283

補正予算額	7,242
-------	-------

予算流・充用額	3
---------	---

最終予算額	46,528
-------	--------

本年度決算額	44,259
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	31,974
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	12,285
計		44,259

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P71 (福027)、12月補正予算・P17 (福008)

【事業の概要】
 平成18年4月の障害者自立支援法の施行により、それまでの「進行性筋萎縮症者療養給付事業」が「療養介護」と「療養介護医療」に再編された。また、法改正により平成24年4月から児童福祉法の対象者だった18歳以上の者が、障害者自立支援法の療養介護対象者となった。進行性筋萎縮症等に罹患している身体障がいのある人等に対し、医療機関で、機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行い、もって障がい者福祉の増進を図る。上記のうち、医療に関する部分を療養介護医療費として医療機関に支給する。

【事業の成果】
 進行性筋萎縮症等の対象者の医療に関する部分を負担することで経済的負担軽減を図ることができた。

平成23年度 239件
 平成24年度 644件
 平成25年度 757件

【今後の課題・方向性】
 対象者が医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行うことは今後も必要である。

(参考)

前年度決算額	39,220
--------	--------

評価結果	進行型筋萎縮症等に罹患している障がいのある人が医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行い、もって障がい者福祉の増進を図ることを目的としており、継続する必要がある。
------	--

福祉保健部
障がい福祉課

福033	項目名	補装具給付費
------	-----	--------

主要な施策	補装具給付費	ページ	30	所属名
-------	--------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	45,449

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	45,449
-------	--------

本年度決算額	45,302
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	31,720
地方債	0
その他	0
一般財源	13,582
計	45,302

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P71 (福028)

【事業の概要】
 障がいの部位及び程度に応じて次のような補装具費（購入・修理）の支給を行う。利用者負担は原則1割となり、残りの9割を支給する。
 (1) 肢体不自由 義肢、(電動)車いす、座位保持装置等
 (2) 聴覚障がい 補聴器
 (3) 視覚障がい 盲人安全杖、義眼、眼鏡
 (4) その他 重度障がい者用意思伝達装置等

【事業の成果】
 身体の障がいを補うため補装具費（購入・修理）の支給を行い、日常生活及び職業生活を容易にすることができた。
 平成23年度 498件
 平成24年度 540件
 平成25年度 551件

【今後の課題・方向性】
 身体障がい者にとって補装具は生活を送るうえで必要である。

(参考)	
前年度決算額	49,028

評価結果	交付申請された補装具に対し、公平性を考え、細かい基準を作成していく。
------	------------------------------------

福祉保健部
障がい福祉課

福034	項目名	相談支援事業費
------	-----	---------

主要な施策	地域生活支援事業費	ページ	30	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	49,150

補正予算額	8,250
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	57,400
-------	--------

本年度決算額	57,400
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	21,662
地方債	0
その他	0
一般財源	35,738
計	57,400

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 8月補正予算・P13 (福005)

【事業の概要】
 障害者総合支援法の施行により、相談支援事業は市が実施する必須の事業である。市内3箇所の指定特定相談支援事業所に本市の相談支援事業を委託し、障がいのある人が地域で安心して生活していくために必要となる各種サービス利用等のための相談支援（サービス利用計画作成等）・調整等を行う体制を整備し、障がいのある人の地域生活の定着及び移行を積極的に推進する。

【事業の成果】
 指定特定相談支援事業所に相談支援業務を6事業所に委託（相談支援専門員 計13名）
 きめ細かな相談支援事業を展開していくため、10月より3事業所に業務を委託し、充実した相談体制を構築した。

平成23年度 3事業所
 平成24年度 3事業所
 平成25年度 6事業所

【今後の課題・方向性】
 平成26年度当初より、障害福祉サービスを受ける際にはサービス利用計画の作成が必須となり、相談支援事業者の業務が激増しており、今後引き続いて相談支援専門員の増加を検討していくこととしている。

(参考)	
前年度決算額	52,113

評価結果	障がい者サービスの提供を希望する者は急増しており、この傾向は今後長期にわたるものと見込まれている。このため、相談支援事業所の業務は急増しており、また、権利擁護制度の活用や介護保険、生活保護などを利用しなければ支援できない、いわゆる困難事例も続出している状況であり、問題解決に高い能力を有する相談専門員の確保、増員拡充は必要である。
------	---

福祉保健部
障がい福祉課

福035	項目名	移動支援事業費
------	-----	---------

主要な施策	地域生活支援事業費	ページ	30	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	5,246

補正予算額	193
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,439
-------	-------

本年度決算額	5,189
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	3,188
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,001
計		5,189

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P72 (福029)

【事業の概要】
 平成18年10月の障害者自立支援法完全施行により、障がいのある人の外出に対する支援は、市町村事業として地域生活支援事業のなかで、移動支援として実施することとなった。屋外での移動が困難な障がいのある方に、外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。

【事業の成果】
 社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動のための外出の移動支援を行うことで、社会参加を促進することができた。

平成23年度 延べ1,539日
 平成24年度 延べ1,291日
 平成25年度 延べ1,449日

【事業の課題・方向性】
 屋外での移動が困難な障がいのある方の外出の支援を行うことは、社会参加を促進するためには今後とも必要である。

(参考)	
前年度決算額	4,583

評価結果	屋外での移動が困難な障がいのある方に、外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的としており、継続が必要。
------	--

福祉保健部 障がい福祉課

福036	項目名	訪問入浴サービス事業費
------	-----	-------------

主要な施策	地域生活支援事業費	ページ	30
-------	-----------	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	2,127

補正予算額	461
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,588
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,385
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	1,465
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	920
計		2,385

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P72 (福030)

【事業の概要】
 重度の身体障がいのある人の家に訪問入浴車を派遣し、入浴サービスを提供する。

【事業の成果】
 対象者の衛生管理、介護者の負担を軽減することができた。

平成23年度 利用回数184回
 平成24年度 利用回数202回
 平成25年度 利用回数221回

【今後の課題・方向性】
 重度の身体障がいのある人の在宅での生活を支援するために必要である。

(参考)	
前年度決算額	2,272

評価結果	重度の身体障がいのある人の家に訪問入浴車を派遣し、入浴サービスを提供することにより、福祉の増進を図ることを目的としており、継続が必要。
------	---

福037	項目名	国民健康保険団体連合会負担金等
------	-----	-----------------

主要な施策	国民健康保険団体連合会負担金等	ページ	30
-------	-----------------	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
当初予算額	3,104,877

補正予算額	588,804
-------	---------

予算流・充用額	132
---------	-----

最終予算額	3,693,813
-------	-----------

本年度決算額	3,680,282
--------	-----------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,746,596
地方債	0
その他	1,512
一般財源	932,174
計	3,680,282

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	1,512
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474</p> <p>【9次総の施策体系】3201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P73(福031)、12月補正予算・P18(福009)</p> <p>【事業の概要】 障害者総合支援法に係る障害福祉サービス費等(介護給付費、訓練等給付費他)の精算は、電子請求システムの導入により平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式として、負担金で支出する。 障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環として実施するサービス利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等を支給する。</p> <p>【事業の成果】 国民健康保険団体連合会経由での支払いで正確かつ迅速に対応している。</p> <p>平成23年度 3,058,200千円 平成24年度 3,394,564千円 平成25年度 3,680,282千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 障がいのある人がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むために障害福祉サービスを利用することは必要である。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	3,394,564

評価結果	障がいのある人がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援し、もって障がい者福祉の増進を図ることを目的としており、継続が必要。
------	--

福038	項目名	強度行動障がい者入居等支援事業費
------	-----	------------------

主要な施策	強度行動障がい者入居等支援事業費	ページ	30
-------	------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P74（福033）

【事業の概要】
 重度の強度行動障がいのある人には専門的かつ継続的な支援が必要で、手厚い体制を組む必要がある。しかし、障害者自立支援法による報酬及び加算がこの体制を組むのに十分ではなく、施設が積極的な支援を行えない現状がある。また、このため、強度行動障がいのある人は、入所希望は出されているものの施設入所ができず、長期間在宅や病院等で待機している現状にある。
 重度の強度行動障害のある人を施設で支援する際には、1：1の人員配置が必要となるが、障害者自立支援法に基づく報酬ではまかなえない。このためこの人員配置を行う施設設置者に対して、必要となる人件費と報酬の差額分の助成を行う。

【事業の成果】
 重度の強度行動障がいのある人の入所待機の状況を解消することにより、保護者等の負担・不安を軽減することができた。
 平成23年度 1名（1事業所）
 平成24年度 2名（2事業所）
 平成25年度 3名（2事業所）

【今後の課題・方向性】
 重度の障がい児・者の入所を促進するため、事業の継続が必要と考える。

(単位:千円)

当初予算額	6,052
補正予算額	2,242
予算流・充用額	0

最終予算額	8,294
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	8,294
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	4,147
地方債	0
その他	0
一般財源	4,147
計	8,294

(参考)

前年度決算額	4,888
--------	-------

評価結果	重度の障がい児・者の入所を促進するため、事業の継続が必要と考える。
------	-----------------------------------

福039	項目名	国民健康保険団体連合会負担金(障がい児対象分)
------	-----	-------------------------

主要な施策	障害児通所給付等事業費	ページ	31
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部 障がい福祉課
-----	-----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	263,516

補正予算額	33,549
-------	--------

予算流・充用額	10
---------	----

最終予算額	297,075
-------	---------

本年度決算額	295,321
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	220,453
地方債	0
その他	0
一般財源	74,868
計	295,321

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P73(福032)、12月補正予算・P18(福010)

【事業の概要】
 障害者総合支援法に係る障害福祉サービス費等の精算は、電子請求システムの導入により平成19年10月から鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式として、負担金で支出する。平成24年4月から、障がい児への通所支援については、児童福祉法上のサービスへ変更された。

【事業の成果】
 国民健康保険団体連合会経由での支払いで正確かつ迅速に対応している。

平成23年度 県事業
 平成24年度 247,322千円
 平成25年度 295,321千円

【今後の課題・方向性】
 障がいのある児童及び介護者を支援するために、障害児通所サービスを利用することは必要である。

(参考)	
前年度決算額	247,322

評価結果	障がいのある児童を支援し、もって障がい者福祉の増進を図ることを目的としており、継続が必要。
------	---

福040	項目名	生活保護家庭小・中学校児童生徒修学旅行支度金
------	-----	------------------------

主要な施策	生活保護家庭小・中学校児童生徒修学旅行支度金	ページ	28
-------	------------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 生活福祉課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	500

補正予算額	10
-------	----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	510
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	510
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	510
計	510	

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P74 (福034)

【事業の概要】
 生活保護法には修学旅行について適用される一時扶助がなく、直接必要な交通費、宿泊費、見学料等は就学援助法により支給されるが、旅行中の衣類・靴代などその他の経費を捻出する手立てがない。そのため、法外扶助の支給要綱に基づき小・中学校とも一律10千円の修学旅行に係る支度金を支給し、一般世帯との格差解消を図り、修学の機会の保持と児童生徒の健全な育成に寄与するもの。

【事業の成果】
 平成23年度 380千円 (38件)
 平成24年度 440千円 (44件)
 平成25年度 510千円 (51件)

【今後の課題・方向性】
 今後も継続

(参考)	
前年度決算額	440

評価結果	一般世帯との格差解消並びに修学の機会の保持及び児童生徒の健全な育成から今後も継続していく。
------	---

福041	項目名	法外援護事業費
------	-----	---------

主要な施策	法外援護事業費	ページ	28
-------	---------	-----	----

所属名	福祉保健部 生活福祉課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	20,422

補正予算額	△ 1,850
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	18,572
-------	--------

本年度決算額	18,527
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	10,131
地方債	0
その他	0
一般財源	8,396
計	18,527

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P75 (福035)

【事業の概要】
 被保護世帯において生活保護法による給付では賅えない需用に対し支援することによって、児童の健全育成や世帯の生活の安定を図る。
 (1) 保育所入所児童への支援金
 保育所に入所する児童のいる被保護世帯に対し、連絡帳等の毎年度更新経費や子どもの成長に伴う運動服等の更新経費等に対応するため、児童一人2,500円を支給し、児童の健全育成と世帯の生活の安定を図る。
 (2) 見舞金
 被保護世帯に、夏期と冬期に見舞金を支給する。
 【従来】夏期-県見舞金及び市見舞金、冬期-市見舞金
 【25年度】市見舞金は冬期のみ支給し、夏期は支給を廃止(県見舞金のみ支給)した。

【事業の成果】

(1) 保育所入所児童への支援金	(2) 見舞金
平成23年度 128千円	平成23年度 21,782千円
平成24年度 120千円	平成24年度 23,669千円
平成25年度 148千円	平成25年度 18,250千円

【今後の課題・方向性】
 市の見舞金制度は25年度を以て廃止。26年度からは県見舞金のみ支給する。
 保育所入所児童への支援金については、継続。

(参考)	
前年度決算額	23,919

評価結果	児童の健全育成と保護世帯の生活の安定の観点から、保育所入所児童への支援金については今後も継続していく。
------	---

福042	項目名	住宅手当緊急特別措置事業費
------	-----	---------------

主要な施策	住宅・生活支援対策事業費	ページ	27	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	16,162

補正予算額	△ 9,424
-------	---------

予算流・充用額	△ 179
---------	-------

最終予算額	6,559
-------	-------

本年度決算額	6,476
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	6,476
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	0
計		6,476

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P75 (福036)

【事業の概要】
 住居を喪失している又は喪失するおそれのある申請時において2年以内に離職した65歳以上の者で、就労能力及び就労意欲があり、原則として収入がないものに対して、住宅支援給付を行うことにより、これらのものの住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。

【事業の成果】
 支給対象者の申請に基づき、住宅手当を支給し、就労支援等を行った。

【住宅手当支給実績】
 平成23年度実績 のべ315世帯 10,666千円
 平成24年度実績 のべ382世帯 12,901千円
 平成25年度実績 のべ115世帯 4,515千円

【今後の課題・方向性】
 平成27年度から生活困窮者自立支援制度における支援制度として、ほぼ同様の内容で移行する予定。

(参考)

前年度決算額	14,859
--------	--------

評価結果	住宅手当支援給付制度については、平成27年度から生活困窮者自立支援制度として、ほぼ同様の内容で移行する予定であり、今後も継続していく。
------	---

福祉保健部
生活福祉課

福043	項目名	生活保護適正実施推進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	生活保護適正実施推進事業費	ページ	32	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	生活保護費
目	生活保護総務費

(単位:千円)	
当初予算額	33,560

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 24
---------	------

最終予算額	33,536
-------	--------

本年度決算額	26,627
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	25,715
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	912
計		26,627

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P76 (福037)

【事業の概要】
 (1) 管外に在住する扶養義務者交渉の実施
 (2) 法29条に基づく新規申請時における収入及び資産の調査
 (3) 中国残留邦人等地域生活支援事業における自立指導員・自立支援通訳の実施
 (4) 就労ボランティア体験事業の実施
 (5) 学習支援事業の実施

【事業の成果】
 上記(1)から(3)までの事業については、円滑に実施することができた。(4)については、ボランティア活動等の体験を通じて就労に必要な基礎能力を身に付けさせ、社会参加意欲と就労意欲を高めるとともに、自立した生活を送ることを目的とした支援を行った。(5)については、貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯の中学生に対し、学習の場を提供し、学力及び学習意欲の向上を図った。

【今後の課題・方向性】
 いずれの事業も国の補助の動向を勘案しつつ、継続する。特に(4)については、平成26年度から現在の事業を強化・発展させる形で、技能習得や就労体験等の中間的就労にも取り組むこととし、今後も強力に就労支援を行っていく。

(参考)	
前年度決算額	2,637

評価結果	今後も国の動きを注視しながら、就労促進事業及び学習支援事業について積極的に推進していく。
------	--

福祉保健部
生活福祉課

福044	項目名	生活保護事務費
------	-----	---------

主要な施策	事務費	ページ	32
-------	-----	-----	----

所属名	福祉保健部 生活福祉課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	民生費
項	生活保護費
目	生活保護総務費

(単位:千円)	
当初予算額	38,254

補正予算額	1,340
-------	-------

予算流・充用額	25
---------	----

最終予算額	39,619
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	36,871
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	26,110
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	10,761
	計	36,871

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 6月補正予算・P8 (福002)

【事業の概要】
 (1) レセプトの基金審査支払手数料の計上。
 (2) 生活保護電算ネットワーク、中国残留邦人等支援給付事務システム、介護認定審査判定等必要な経費
 (3) 生活保護システムの保守業務委託費

【事業の成果】
 生活保護行政の安定的な運営に資することができた。

【今後の課題・方向性】
 国の補助の動向を勘案しつつ、継続。

(参考)	
前年度決算額	10,231

評価結果	国の補助の動向を勘案しつつ、今後も継続していく。
------	--------------------------

福045	項目名	扶助費
------	-----	-----

主要な施策	扶助費	ページ	32	所属名
-------	-----	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	生活保護費
目	扶助費

(単位:千円)	
当初予算額	4,280,000

補正予算額	269,100
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,549,100
-------	-----------

本年度決算額	4,357,164
--------	-----------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,322,246
地方債	0
その他	36,985
一般財源	997,933
計	4,357,164

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	36,985
その他	0

事業の概要

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P76(福038)、12月補正予算・P19(福011)

【事業の概要】
 生活保護法に基づく生活保護制度及び中国残留邦人等支援法に基づく支援給付制度の運用

【事業の成果】
 (国3/4、市1/4負担)
 平成23年度扶助費支給額 3,790,475千円
 平成24年度扶助費支給額 4,184,680千円
 平成25年度扶助費支給額 4,357,164千円

【今後の課題・方向性】
 法定受託事務であり、国の指導の下、適正な保護制度の運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	4,184,680

評価結果	今後も国の動きを注視しながら、適正な生活保護制度の運営に努めていく。
------	------------------------------------

福祉保健部
生活福祉課

福046	項目名	高額療養費資金貸付金
------	-----	------------

主要な施策	高額療養費資金貸付金	ページ	28	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	13,390

補正予算額	2,532
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	15,922
-------	--------

本年度決算額	13,620
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	13,620
	一般財源	0
計		13,620

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	13,620
その他	0

事業の概要

【問合せ先】国民健康保険係 0857-20-3482

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P19 (福012)

【事業の概要】
 高額医療費の支払いが困難な世帯に対し、必要な資金を一時的に貸し付けることにより、国保被保険者の福祉増進と生活の安定を図るもの。

【事業の成果】
 高額療養費支給対象額の9割を限度に貸付を行った。
 平成23年度 件数104件 15,330,000円 1件当たり147,404円
 平成24年度 件数104件 13,530,000円 1件当たり130,096円
 平成25年度 件数99件 13,620,000円 1件当たり137,575円

【今後の課題・方向性】
 高額な医療費の一時的な出費に対する負担軽減の観点から事業を継続するものであるが、高額療養費の請求及び貸付金の償還において適正な執行に努める必要がある。

(参考)	
前年度決算額	13,530

評価結果	高額な医療費の一時的な出費に対する負担軽減の観点から事業を継続するものであるが、高額療養費の請求及び貸付金の償還において適正な執行に努める必要がある。
------	---

福祉保健部
 保険年金課

福047	項目名	重度障害者医療助成費
------	-----	------------

主要な施策	重度障害者医療助成費	ページ	28	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	身体障がい者福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	583,709

補正予算額	19,082
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	602,791
-------	---------

本年度決算額	581,946
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	220,752
	地方債	0
	その他	100,125
	一般財源	261,069
計		581,946

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	100,125
その他	0

事業の概要

【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486
【9次総の施策体系】 3202
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P77 (福039)
【事業の概要】
身心に障がいのある人の医療費についてその一部を助成するもの (所得制限あり)
○県市事業 次に該当する人に対し、患者負担額を医療費の1割負担とする。
①身体障害者手帳1,2級の所持者
②重度の知的障害者として判定を受けた者
③精神保健福祉手帳1級の所持者
○単市事業 70歳未満で所得税及び市民税非課税である下記の人。
①身体障害者手帳3,4級の所持者 (※1)
②身体障害者手帳5,6級の所持者 (※2)
③療育手帳所持者 (※1)
④精神保健福祉手帳2級の所持者 (※1)
⑤精神保健福祉手帳3級の所持者 (※2)
※1 1ヶ月の医療費の合計が入院を含む場合15,000円、それ以外の場合は8,000円を超えた額を助成。
※2 ※1の半額を助成。
【事業の成果】 (扶助費)
平成23年度 83,613件 560,314,490円
平成24年度 85,163件 561,506,772円
平成25年度 86,325件 572,821,545円
【今後の課題・方向性】
障がいのある人の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	571,716

評価結果	障がいのある人の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。
------	---

福祉保健部
保険年金課

福048	項目名	はり・きゅう・マッサージ施術助成費
------	-----	-------------------

主要な施策	はり・きゅう・マッサージ施術助成費	ページ	29
-------	-------------------	-----	----

所属名	福祉保健部 保険年金課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	3,356

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,356
-------	-------

本年度決算額	2,930
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	2,260
一般財源	670
計	2,930

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2,260
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】長寿医療係 0857-20-3487</p> <p>【9次総の施策体系】3202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P77 (福040)</p> <p>【事業の概要】 高齢者の福祉の向上、医療費負担軽減を図るため、はり、きゅう、マッサージの施術費用の一部を助成するもの。</p> <p>【事業の成果】 所得税及び住民税非課税者で70歳以上の高齢者及び後期高齢者医療被保険者を対象に年間(6月～5月)12回以内の施術(1回につき1,000円)を助成した。 <table border="1"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>配布件数 531件</td> <td>助成金額 3,140,000円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>配布件数 523件</td> <td>助成金額 3,257,500円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>配布件数 445件</td> <td>助成金額 2,805,000円</td> </tr> </table> </p> <p>【今後の課題・方向性】 後期高齢者医療被保険者と国が医療費一部負担金を1割(本来2割)に据え置いている70歳代前半の者を対象とする事業であるため、国が70歳代前半の一部負担金を段階的に本来の2割に戻すことを決定したことに伴い、本事業の対象者も同様に取り扱っていく。</p>	平成23年度	配布件数 531件	助成金額 3,140,000円	平成24年度	配布件数 523件	助成金額 3,257,500円	平成25年度	配布件数 445件	助成金額 2,805,000円
平成23年度	配布件数 531件	助成金額 3,140,000円							
平成24年度	配布件数 523件	助成金額 3,257,500円							
平成25年度	配布件数 445件	助成金額 2,805,000円							

(参考)	
前年度決算額	3,383

評価結果	後期高齢者医療被保険者と国が医療費一部負担金を1割(本来2割)に据え置いている70歳代前半の者を対象とする事業であるため、国が70歳代前半の一部負担金を段階的に本来の2割に戻すことを決定したことに伴い、本事業の対象者も同様に取り扱っていく。
------	--

福049	項目名	後期高齢者医療広域連合運営費
------	-----	----------------

主要な施策	後期高齢者医療広域連合運営費	ページ	29	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名		
一般会計		
款	民生費	
項	社会福祉費	
目	老人福祉費	

(単位:千円)	
当初予算額	1,822,022

補正予算額	△ 76,956
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,745,066
-------	-----------

本年度決算額	1,740,926
--------	-----------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	33,365
	一般財源	1,707,561
計		1,740,926

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	33,365
その他	0

事業の概要

【問合せ先】長寿医療係 0857-20-3487
【9次総の施策体系】3202
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P78 (福041)
【事業の概要】
平成20年4月に開始された後期高齢者医療制度は、県内全市町村で構成する鳥取県後期高齢者医療広域連合(以下、広域連合)が運営主体であり、広域連合の決算総額は75,097,382千円、うち県内市町村負担金が11,813,120千円である。内訳は、
(1) 広域連合市町村負担金294,913千円(うち鳥取市83,430千円)
人件費、物件費等の事務局運営費を、県内全市町村が均等割10%、高齢者人口割50%、人口割40%の割合で負担するもの
(2) 市町村療養給付費負担金5,859,453千円(うち鳥取市1,632,447千円)
各市町村の自己負担割合1割の被保険者が医療を受けた際の療養給付費(9割)の1/12に相当する金額を、各市町村分として負担するもの
(3) 保険料等負担金5,658,754千円(うち鳥取市1,770,592千円)
※後期高齢者医療特別会計の後期高齢者医療広域連合納付金
【事業の成果】
広域連合に対し後期高齢者医療制度に係る応分の負担金を支出した。
(1) 広域連合市町村負担金
平成23年度 72,023,477円
平成24年度 90,623,708円
平成25年度 83,429,621円
(2) 市町村療養給付費負担金
平成23年度 1,548,104,179円
平成24年度 1,596,794,860円
平成25年度 1,632,447,000円
(3) 広域連合派遣職員人件費
平成23年度 29,359,296円
平成24年度 30,618,300円
平成25年度 25,049,552円
【今後の課題・方向性】
鳥取県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、制度の円滑な運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	1,718,037

評価結果	鳥取県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、制度の円滑な運営に努めていく。
------	--------------------------------------

福祉保健部
保険年金課

福050	項目名	特定疾病医療助成費
------	-----	-----------

主要な施策	特定疾病医療助成費	ページ	31	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	4,056

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,056
-------	-------

本年度決算額	2,991
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,495
地方債	0
その他	0
一般財源	1,496
計	2,991

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P78 (福042)

【事業の概要】
 医師により特定疾病と認定され医療費の負担が大きい患者に対し、県・市共同で医療費の一部を助成するもの。
 ○対象者 慢性腎疾患、ぜんそく、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、神経・筋疾患等の治療をしている満20歳未満の人（先天性代謝異常については満20歳以上の人も対象となる場合あり）
 ○患者負担額 通院 530円/日（同一医療機関で一月5日目以降は無料）
 入院 1,200円/日（※1）

※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。

【事業の成果】
 特定疾病に認定された者に医療費の助成を行い、健康保持及び生活の安定を図った。（扶助額）

平成23年度	1,580件	7,374,696円
平成24年度	559件	2,944,683円
平成25年度	532件	2,919,978円

【今後の課題・方向性】
 特定疾病患者の医療費負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	3,017

評価結果	特定疾病患者の医療費負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。
------	---------------------------------------

福祉保健部
 保険年金課

福051	項目名	小児特別医療助成費
------	-----	-----------

主要な施策	小児特別医療助成費	ページ	31	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	656,918

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	656,918
-------	---------

本年度決算額	571,477
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	283,342
地方債	0
その他	4,707
一般財源	283,428
計	571,477

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	4,707
その他	0

事業の概要

【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P79 (福043)

【事業の概要】
 中学校卒業までの児童(15歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童)に対し、医療費の助成を行う。
 ○対象者 中学校卒業までの児童の入院・通院医療費を助成
 ○患者負担額 通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目以降は無料)
 入院 1,200円/日 (※1)

※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。

【事業の成果】
 児童に係る医療費負担の一部に対して助成を行うことにより子育て家庭の経済的負担軽減を図った。
 (扶助費)

平成23年度	208,183件	509,792,826円
平成24年度	232,380件	576,226,432円
平成25年度	220,375件	543,271,700円

【今後の課題・方向性】
 子育てに伴う経済的な負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	606,715

評価結果	子育てに伴う経済的な負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。
------	---

福祉保健部
 保険年金課

福052	項目名	ひとり親家庭医療助成費
------	-----	-------------

主要な施策	ひとり親家庭医療助成費	ページ	31	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	児童福祉費
目	母子福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	98,268

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	98,268
-------	--------

本年度決算額	88,889
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	41,525
地方債	0
その他	5,292
一般財源	42,072
計	88,889

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	5,292
その他	0

事業の概要

【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P79 (福044)

【事業の概要】
 所得税非課税のひとり親世帯の親及び子(18歳に達した年度末まで)に対し、県・市が共同により医療費の助成を行う。
 ○対象者 配偶者のない父・母(死別・離婚・遺棄・配偶者が身体障がい者・未婚の母等)と子
 ○患者負担額 通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目以降は無料)
 入院 1,200円/日 (※1)
 ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている方については、1月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。

【事業の成果】
 医療費の助成により、ひとり親世帯の親子の健康保持及び生活の安定を図った。
 (扶助費)
 平成23年度 32,013件 82,042,043円
 平成24年度 32,977件 85,933,712円
 平成25年度 31,616件 85,540,965円

【今後の課題・方向性】
 ひとり親家庭の方の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	89,398

評価結果	ひとり親家庭の方の医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。
------	--

福祉保健部
 保険年金課

福053	項目名	国民健康保険費特別会計へ繰出
------	-----	----------------

主要な施策	国民健康保険費特別会計へ繰出	ページ	32
-------	----------------	-----	----

所属名	福祉保健部 保険年金課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	他会計繰出
目	国民健康保険費特別会計へ繰出

【問合せ先】庶務係 0857-20-3481

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P80（福045）

【事業の概要】
 国のルールに基づく一般会計からの支援分等の繰出。

【事業の成果】
 一般会計からの支援分等の繰出。
 （繰出実績）

	事業勘定	直診勘定
平成23年度	1,578,988,405円	13,725,631円
平成24年度	1,542,876,927円	8,847,343円
平成25年度	1,492,937,944円	32,095,773円

【今後の課題・方向性】
 国民健康保険制度の趣旨及び実態に即しながら国保会計の安定化に努めていく。

(単位:千円)

当初予算額	1,604,486
-------	-----------

補正予算額	△ 46,710
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,557,776
-------	-----------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,525,034
--------	-----------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	616,631
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	908,403
計	1,525,034	

(参考)

前年度決算額	1,551,724
--------	-----------

評価結果	国民健康保険制度の趣旨及び実態に即しながら国保会計の安定化に努めていく。
------	--------------------------------------

福054	項目名	後期高齢者医療費特別会計へ繰出
------	-----	-----------------

主要な施策	後期高齢者医療費特別会計へ繰出	ページ	32
-------	-----------------	-----	----

所属名	福祉保健部 保険年金課
-----	----------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	他会計繰出
目	後期高齢者医療費特別会計へ繰出

【問合せ先】長寿医療係 0857-20-3487

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P81（福047）

【事業の概要】
 国のルールに基づく一般会計からの支援分等の繰出。

【事業の成果】

	繰出額
平成23年度	429,244,721円
平成24年度	437,588,423円
平成25年度	439,750,623円

【今後の課題・方向性】
 後期高齢者医療制度の趣旨及び実態に即しながら、適切な運営に努めていく。

(単位:千円)

当初予算額	441,443
-------	---------

補正予算額	407
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	441,850
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	439,751
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	292,613
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	147,138
計		439,751

(参考)

前年度決算額	437,589
--------	---------

評価結果	後期高齢者医療制度の趣旨及び実態に即しながら、適切な運営に努めていく。
------	-------------------------------------

福055	項目名	未熟児養育医療助成費
------	-----	------------

主要な施策	未熟児養育医療助成費	ページ	33	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	12,283

補正予算額	△ 275
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	12,008
-------	--------

本年度決算額	11,570
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	5,140
	地方債	0
	その他	1,531
	一般財源	4,899
計		11,570

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	1,531
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】医療助成係 0857-20-3486

【9次総の施策体系】3202

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P81(福048)

【事業の概要】
 出生時体重が2,000g以下で、生活力が弱い症状を示す未熟児の入院にかかる保険対象医療費の自己負担の一部を助成する。
 ※平成25年度より県から権限移譲

【事業の成果】
 未熟児が医療保険等で医療給付を受けた場合の自己負担部分を助成し、健康の保持と生活の安定を図った。

	助成人数	助成額
平成25年度	36人	10,014,821円

【今後の課題・方向性】
 未熟児の養育に係る医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	未熟児の養育に係る医療費の負担軽減のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。
------	--

福祉保健部
 保険年金課